

vitae
realising
the potential
of researchers

Vitae教材

キャリアマネジメント

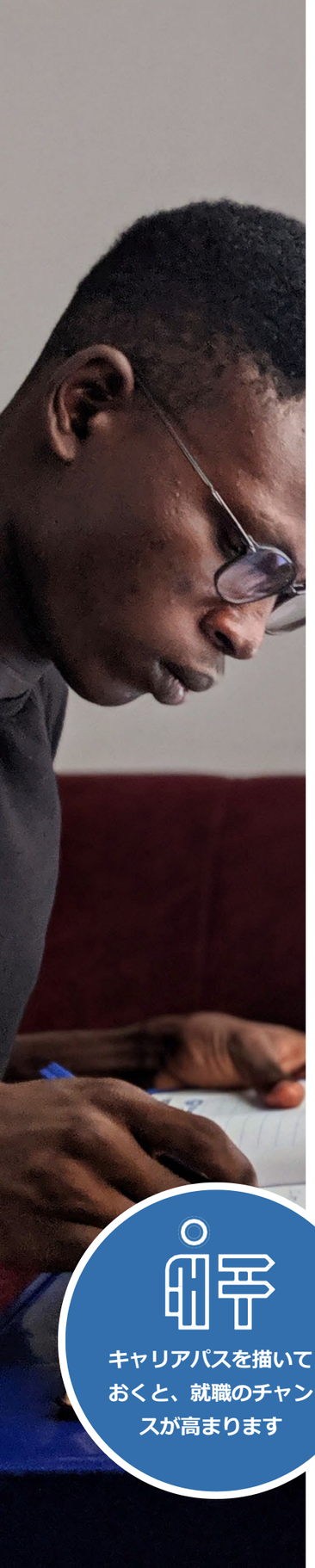
研究者のための リーダーシップ入門

本編は、研究者が、PI やグループリーダーとなって研究チームを率いる際に発揮すべきリーダーシップの理論やスキル、行動、そして資質について、シリーズで紹介する「研究者のためのリーダーシップ入門（Introduction to Research Leadership）」の一部です。

この教材は、世界中の研究者の専門性とキャリア開発を支援する英国の非営利団体 Vitae によって作成され、独学可能な実用ガイドとして設計されています。必要に応じて個々のパーツだけ取り上げてもよいですし、ご自分のペースに合わせながらシリーズ全てを網羅的に学ぶこともできます。

キャリアマネジメントは、あなた自身とあなたに訪れうるチャンスをきちんと把握したうえですすめるものです。把握しておくべき点としては、次のようなことが挙げられます。

- 自分は何ができて、自分は人生に何を求めているのか。
- どのような仕事をすれば自分が望むキャリアを歩むことができ、そのためにはどのような就職活動をすればよいのか。採用されるためにどのようなサポート、トレーニング、能力開発があるのか。
- あなたが望むキャリアを歩むことによって、お金の問題や、社会の中での位置づけ、社会的な力関係等がどうなっていくのか。



キャリアマネジメント

本編では、キャリアについての管理を常に行うことの重要性を学んでいきます。キャリアマネジメントは、新しいポジションを探すときや今の仕事に不満がでてきたときにだけ重要というわけではないのです。リーダーシップを養うためにキャリアをどんどん開拓する方法を今学んでおくと、これから自分のアクションプランを立てるときに役立ちます。

本編は、VitaeRDF のうち次の記述子に関連する内容です。

B3 能力開発・キャリア開発：キャリアマネジメント

B1 個人の資質：内省

キャリアマネジメントの重要性とは

理想とするキャリアを描き、そのキャリアに求められる専門能力を伸ばしておけば、仕事のチャンスが訪れたときに迅速に動くことができます。

また、キャリア頂点の姿を明瞭に描いておくと、次のキャリア地点に到達するためのトレーニングや能力開発の機会を見逃すことなく、最大限に役立てることができます。

そして何よりも、自分のスキルや能力を客観的に把握し、それを相手に伝えることができれば、外部の機関や企業との共同研究を始める際にとても役に立ちます。キャリアの知識と理解が深まれば深まるほど、新しい取り組みやパートナーシップを率先して築き上げることができるようになるのです。

研究リーダーから学ぶキャリアマネジメントのヒント

- 興味を抱いている仕事の内容をきちんと調べ、昇進の仕組みを把握しておきましょう。

- 想定外なオファーも前向きに検討し、特定の分野だけにこだわらないようにしましょう。

「自分のもとに到来するチャンスを見逃さないことです。私自身も、せっかく素晴らしい機会が巡ってきたというのに、その半分に気づいていませんでした。自分ではチャンスを逃すことはなかったつもりになっていましたが、もっとしっかりチャンスを掴んでいたのなら、自分のキャリアはもっと素晴らしいものになったでしょう。」(シニア研究リーダー)[1]

- 前もって計画を立てるための時間を確保しましょう。

- これからのキャリアパスを描き、計画をたてるために自分の能力がどのレベルにあるのかを知っておきましょう。

- 自分自身の価値観もキャリアプランに織り込んでおき、自分にぴったりだと思う機会にフォーカスしていきましょう。

「自分がどの研究機関に所属するかは重要なポイントではなく、どの機関であろうとも仕事内容こそが重要なのです。残念ながら、実は多くの方々が、所属する研究機関のステータスに固執するあまり、本当にやりたいことで成果を出しにくくなっていると思います」(シニア研究リーダー)[1]

- 次のキャリア地点で必要となるスキルを前もって身に付けましょう。

- へこたれることなく、失敗から学ぶ気概を持ちましょう。

- 時々振り返り、整理してみましょう。

1.Denney, F., Mitchell, A., & Wheat, K. (2015). 'Developing the next generation: Guidance and good practice in the development of early career researchers and academics'. The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited.www.vitae.ac.uk/vitae-publications/guides-briefings-and-information/developing-the-next-generation-vitae-brunel-lfhe-2015.pdf

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency

Vitae リーダーシップガイドブック ：キャリアマネジメント

キャリア考察のポイント

- 自分についてよく知っておけば、キャリアの岐路に立ったときに自分の選択が正しいものかどうかを判断できます。自分のスキル、価値観、能力、性格、過去と現在の職務経験について考えてみましょう。仕事以外の生活、例えば、地域での役割や責任、余暇、ワークライフバランス、健康、運動などについても考えてみましょう。

- キャリアパスや目標に到達することを妨げるものを、しっかり認識するようにしましょう。自分への制約や障害が何であるかを認識することにより、現実的な決断と計画を立てることができるようになり、いつまでもプレッシャーを感じたり、失望したりすることがなくなります。

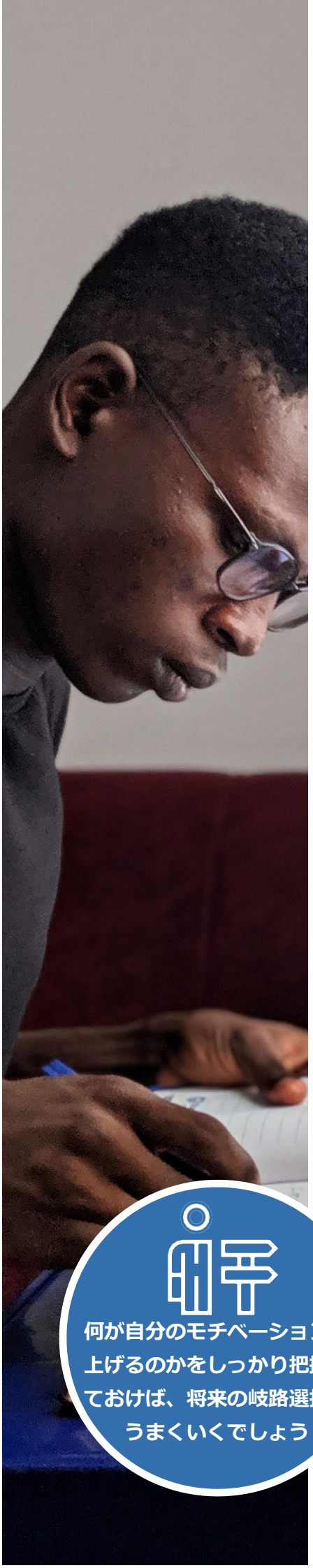
- 他人と関わりましょう。アドバイスや手助けを受けながら、自分の専門分野のネットワークを構築することで、自分も部下も将来への道を拓くことができ、キャリアの確立につなげることができます。

- 他の人がどのようにして今の地位を築いたか、そのストーリーに耳を傾け参考にしましょう。反対に、自分のストーリーを話したり、若手研究者のコーチやメンターになったりすることで、他者に参考にしてもらいましょう。

自分のモチベーションややりがいを把握しておくことは、将来、キャリアの岐路に立ったときに正しい判断をするための道しるべとなります。

「私は人々が知り得ないことを発見し、サイエンスとして語ることが大好きなんです。だから、サイエンスをすることが何よりも大事で、人々に教えたりトレーニングを施して彼らがうまくやっていける様子を見届けることが、私にとっての幸せというものなのです。」(シニア・ポストドクトラル・フェロー)[1]

「正直なところ、大学の中で自分がとるべきリーダーシップをもっときちんに考えるべきであったと、真摯に反省しています。自分は、大学機関レベルでリーダーシップを発揮するのではなく、研究グループレベルで研究をリードすべきだったのです」(シニア研究リーダー)[1]



何が自分のモチベーションが上げるのかをしっかり把握しておけば、将来の岐路選択はうまくいくでしょう

演習（ご自分のこれまでを振り返ろう）

今の仕事のなかで、何が自分のモチベーションを上げているのか、リストに書き出してみましょう。リストを眺めてみて、今の仕事の役割をもっと充実させる方法や、将来やりたい仕事がどういうものか考えてみましょう。

今の仕事の中で、自分のモチベーションを上げるもの

今の仕事の役割をもっと充実させる方法

将来やりたい仕事

Vitae とその会員制プログラムは、独立した登録慈善団体である **Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited** によって運営されています。CRAC 登録慈善団体番号 313164.

英語オリジナル版 : Published by Vitae © 2021 The Careers Research and Advisory Centre (CRAC) Limited
和訳版 : © 2023 Japan Science and Technology Agency